

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成26年10月22日
タイトル	給食米の稲刈りをしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成26年10月7日（火）福山市立東村小学校全児童45名と福山市立東村保育所の子ども達19名が、福山市東村町のほ場で農業体験をしました。

このほ場は、学校給食食材納入グループ「若草会」が管理している学校農園で約20aのほ場は、若草会の会員で水土里ネット福山の組合員の<sup>かいのあきのり</sup>廻野明倫さんが主に管理をしておられます。

6月に田植えの農業体験をした子ども達、いよいよ稲刈りをすることとなりました。ここで収穫したお米は、東村小学校と東村保育所の一年間の給食に使われます。

当日は台風18号の影響が心配されましたが、台風一過となり秋晴れのもと稲刈りの農業体験をすることとなりました。



秋晴れの稲刈り日和です



一面の田んぼの中、子ども達が歩いてきました

学校給食食材納入グループ「若草会」代表で水土里ネット福山の組合員 <sup>すぎはらなおみち</sup>杉原直道さんから挨拶とともに、鎌の使い方などを教えていただきました。

つぎに、子ども達を代表して児童会会長の福田航平くんより若草会の皆さんへ感謝の気持ちと早く新米を食べたいと挨拶がありました。



丁寧な説明を聞き入る子ども達



収穫を楽しみにしていました！

いよいよ稲刈りです。子どもが使いやすいように、今年新調した小ぶりの鎌を持って高学年の4、5、6年生が一行に並んで田んぼへ入ります。前日までの台風の影響で少しぬかるんでいましたが、子ども達は歓声をあげながら、とても楽しそうに稲を刈り始めました。最初は慣れない手つきで見ている方もドキドキでしたが、徐々に上手になっていきました。

田植えの時に、子ども達が手で植えたところとその後田植え機で植えたところは、なぜか境界線ができていました。この境界線まで稲刈りをしようという事になりましたが、子ども達はドンドン進んでいってしまうので、地域の方や若草会の方が声をかけながら手植えをしたところを刈りました。

東村小学校の大村校長先生やA L Tの授業で来校しておられた英語のリー・オーエン先生も参加して稲刈りをしました。校長先生もリー先生も手早く稲を刈っておられました。

リー先生に感想を伺ったところ「生まれて初めて稲刈りをしました。すばらしかったです。」と喜んでおられました。

なぜか境界線が！？



リー・オーエン先生です



刈った稲は、束にしてはざ掛けにしていきます。はざ掛けにする土台は竹を3本縄で縛ったもので、この3本足を稲の株の上にとすると沈まないのでも少々の風でも倒れないと教えていただきました。

はざ掛けをするようになると、低学年の子ども達も一斉に田んぼへ入って、稲を運んだり掛けたりと一生懸命手伝っていました。



はざ掛けのお手伝い



背伸びをして掛けています！



記念撮影をして農業体験を終わりました

稲刈りを終えた子ども達へ「収穫を満喫しましたか」と声がかかり、子ども達は大きな声で「満喫したよ！」と返事をしていました。

東村小学校の校長先生より挨拶があり、「6月の田植えから四ヶ月でこんなに稲が立派に育ったこと、これは自然の恵みに感謝すること、若草会をはじめ地域の皆様に感謝すること、そして毎日の給食の時今日の収穫の喜びと感謝の気持ちを思い出し大切に食べましょう」とお話をされました。

その後、若草会から新米を使ったおにぎり弁当が参加者全員へ配られ、子どもも大人も一緒になり稲刈りをした田んぼを見ながら大きなおにぎりをほおばりました。新米のおにぎりはとってもおいしかったです。



よく稲刈りできたね！



働いた後のごはんはおいしい！



このおにぎり弁当には、東村小学校児童会のメッセージが添えられていて「このお米を食べたら元気で長生きできますよ」などと書いてあり、おにぎりを食べながらみんな笑顔になっていました。

東村小学校の子ども達から、稲刈り体験の感想文が届きました。

きょういねかりをしました。はじめにおはなしをききました。つぎに、4・5・6ねんが、かまでいねをかりました。そのつぎに、1・2・3ねんは、かたいいねをはこぶやくをしました。そのつぎに、はぜにいねをかけるのとか、いねをともだちにわたしたりしました。そのとき、あしがどろのなかにはいったのでびっくりしました。ちからをいれたらめけました。それでこけました。

おひるには、わかくさかいのみなさんやきゅうしょくのせんせいたちがおべんとうをくれました。すごたのしかったです。  
【1年】

今日、いねかりがありました。1・2・3年生は、4・5・6年生のお手伝いをしました。わたしは、顔が見えないほどいねをもち、こけそうになりました。とちゅうで長ぐつが田んぼにはまってしまいました。お友だちのゆうかさん、ちえさん、ういかさんに手つだってもらいました。それでようやく長ぐつがめけました。わたしはみんなに「ありがとう。」と、言いました。

いねかりだ わかくさ会の人 ありがとう  
あいじょうこめて いねかり うれしい  
えっさほいさと お手つだい  
楽しい思い出ができました。

【2年】

「ぴちゃ、ぴちゃ、ぐさぐさぐさ、とれた。」

10月7日、東村小学校のみんなで学校農園まで稲刈りをしに行きました。私は4年生、今年からかまで稲をかれる！

まずは、若草会の方のお話。

「ウ～、ここからだったら聞こえにくい。」私たちのいるところからは、全然聞こえませんでした。

「向こうへ行って！」先生の声です。やっと聞こえる！

次に、いよいよ稲刈り。楽しみがやっとくる。

「地面がわるいなあ。」

雨がふったからぬるぬるしていました。

「ぴちゃ、ぴちゃ、ぐさぐさぐさ、とれたあ。」

土の音と、稲をかまでかる音をたてて、やっととれました。一本一本数えると何本だろう。次々とかまでかると、だんだん広くなってきました。

「うわ、広っ。」

下を向いたままだった私は、目の前で見た広さを初めて知りました。初体験の稲刈りは去年のはぜかけより楽しいです！

それから、私も少し気になっていたお弁当の時間になりました。

「めっちゃ、おいしそう。」

塩がかかったごまおすび。トマトにつけもの。きれいなものはなし。

「しょっぱ！」ごまのところにだけ塩が・・・。

「リー先生だ。」

私たちがいる方に近づいて、

「おいしいつけものいる？」

「ハイ！」

私と美味ちゃんが言いました。本当においしかったから・・・。

最後に、ピシツとならんで小学校へ帰ります。

ワイワイと大きな声がひびきわたっています。

「ありがとうございました。」

お礼を言って、おしゃべり～。アハハ、アハハ！

笑顔いっぱい、あせを流し、歩楽しくきながら学校に着きました。

「ぴちゃ、ぴちゃ、ぐさぐさぐさ、とれた。」

[4年]

私にとって最後の稲刈りでした。

「今年は台風などでたくさん雨が降って、日照時間が少ない年でした。学校農園の稲は、その影響で米粒は少し小さいです。」

その話を聞いたとき、今日刈っていいのだろうか、もっと粒が大きく実ってから刈った方がいいのだろうか、味や歯ごたえは違ってくるのだろうか、と心配しました。でもそのあと、「刈っても稲が自分で緑の部分から栄養をもらうので大丈夫です。」と説明があり、さっきしていた心配は何だったんだろうと思うくらい気持ちが軽くなりました。

前日に降った雨で地面は少しやわらかく、歩いたり体重をかけたりしていると、水がにじみ出てきました。稲を刈るのは2回目だったので、最初は感覚が思い出せなくても、すぐに思い出してスムーズにできるようになりました。



お昼ごはんのおにぎりは、少し塩の味がして、すごくおいしかったです。

来年はもうできないけれど、ふつうではできない貴重な体験ができたことは、いつになっても忘れないと思いました。

【6年】

刈るときのコツは、手が土につくくらいの低さで平行にして刈ります。刈り取った稲は、4束位をまとめてくくります。注意したことは、かまは危ないから刈るとき以外は下に向けておくことです。今年は、新しいピカピカのかまを使わせてくださいました。やはり新しいかまは、何ととっても切れ味がよくてすっきりと切れました。

ほくは稲刈りの初めのあいさつをさせてもらいました。緊張したけれど精一杯の声で言いました。昼食で出た弁当は、なすのつけものがおいしかったです。お米は一粒一粒がふっくらしていてきれいでした。お代わりもまわってきたのでたくさんいただきました。

今年の稲刈りは時期が少し早かったようだけど、いいお米になっているといいです。新米を食べる日が待ち遠しいです。

【6年】

東村小学校のみんなが、感想文の子ども達と同じような気持ちで農業に関心を持ち、稲刈りを楽しんだことと思います。東村の子ども達が、新米を食べてますます元気に過ごしてほしいと思います。

福山市土地改良区は、農業体験を通じて地域の方々や子ども達と交流を図り「水土里ネット福山」を多くの方に知っていただけるよう活動してまいります。